

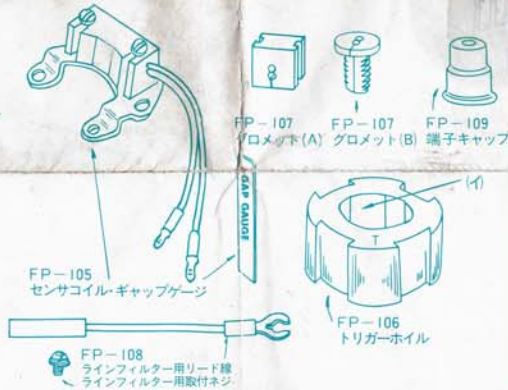
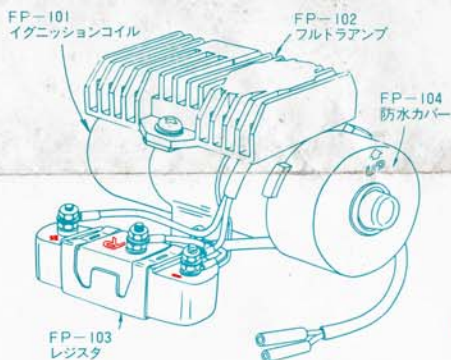
阪神フルトラFX-10B取付説明書

TOYOTA車4気筒用

株式会社 阪神変圧器製作所

阪神フルトラレンジスタイグニッションシステム(フルトラ)をお買上げいただきまして誠にありがとうございました。阪神フルトラの性能を100%発揮させるためにお取付けお取扱いの前には必ずこの説明書をお読みください。

セット内容



部品表

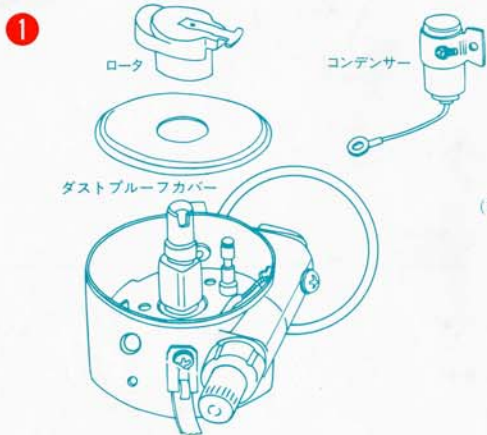
部品名	部品番号
1 イグニッションコイル	FP-101
2 フルトラアンプ	FP-102
3 レジスタ	FP-103
4 防水カバー	FP-104
5 センサコイル・ギャップゲージ	FP-105
6 トリガーホイール	FP-106
7 グロメット(A),(B)	FP-107
8 ラインフィルター用リード線 ラインフィルター用取付ネジ	FP-108
9 端子キャップ	FP-109

適用車種

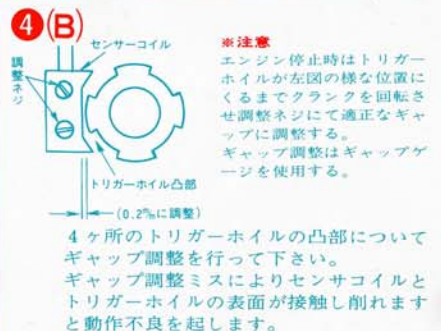
車名	排気量	年式	エンジン形式	車輪形式	取付図
コ罗纳マークII	2000	S 47-49	18R-G(R)	RX22	B
		S 45-47	8R-D	RT62D, 72D, 78D	A
		S 45-47	10R	RT75M	B
コ罗纳	2000	S 48-50	18R-G(R)	RT104, 114	B
		S 46-47	8R-D	RT93	B
	1900	S 46-48	12R	RT81, 87V, 91	A
		S 48-50	12R	RT100, RT106V	A
		S 45-48	2R	RT80, 86V, 90, 96	A
セリカ	2000	S 48-50	18R-G(R)	RA21, 25	B
カリーナ	2000	S 49-50	18R-G(R)	RA15	B
カローラ	1200	S 45-50	3K 3K-B(R) 3K-H	KE20, 25, 30, 35	A・B
		S 50~	3K-HJ	H-KE26V, 36V	B
		S 46-50	3K 3K-B(R) 3K-H	KE20, 25, 40, 45	A・B
スプリンター	1200	S 46-50	3K 3K-B(R) 3K-H	KE20, 25, 40, 45	A・B
スターレット	1200	S 48-50	3K 3K-B(R)	KP42, 47	B
		1000	S 48-50	2K	KP40, 45
パブリカ	1200	S 46-50	3K	KP31, 37, 37V	A・B
		S 50~	3K-HJ	H-KP37	B
	1000	S 45-50	2K	KP30, 36	A
ハイラックス	1600	S 47-50	12R	RN20, 25	A・B
		S 50~	12R-J	H-RN20, 25	B
ハイエース	1600	S 46-50	12R	PH11, RH11, 13	B
		S 50~	12R-J	H-RH11, 13, 16, 40	B
トヨエース	1600	S 46-50	12R	RY1Q, 12, 14	B
ライトエース	1200	S 46-50	3K	KM10	A・B
		S 50	3K-J	H-KM10	B
シャルマン	1200	S 49-50	3K	A10, 10V	B
コソソルテ	1000	S 49-50	3K	A10, 10V	B
		S 50~	3K-J	H-A10	B
コソソルテ	1000	S 48-50	3K	EP31, 42, 47	B

注: 3K-UのエンジンはFX-10Cで取付して下さい。

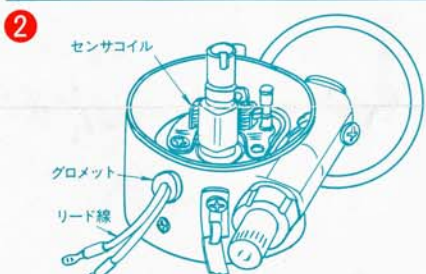
取付方法 ディストリビューターの改造



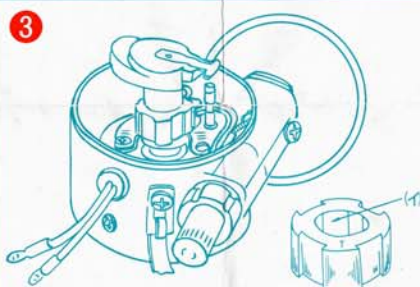
- (1) ディストリビューターについているロータ、ダストブルーフカバー、コンタクトセット、コンデンサをはずす。(図1)
- ※注意**
ネジ、ワッシャ類をディストリビューター内に落さない様注意して下さい。もし落した時は必ず取り出して下さい。はずしたネジ、ワッシャ類は付属のビニール袋に入れておくさない様にして下さい。



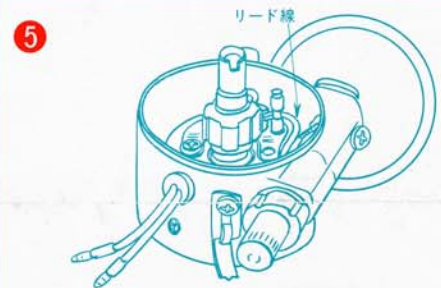
- (4) (B) センサーコイルの中心部に合わせて付属のギャップゲージ(紙製)でセンサーコイルとトリガーホイールのギャップ調整を正確に行なって下さい。
- ※注意**
エンジン停止時はトリガーホイールが左図の様な位置にくるまでクランクを回転させ調整ネジにて適正なギャップに調整する。ギャップ調整はギャップゲージを使用する。
- 調整ネジ
トリガーホイール凸部
(0.2%に調整)
- 4ヶ所のトリガーホイールの凸部についてギャップ調整を行って下さい。ギャップ調整ミスによりセンサーコイルとトリガーホイールの表面が接触し削れますと動作不良を起します。



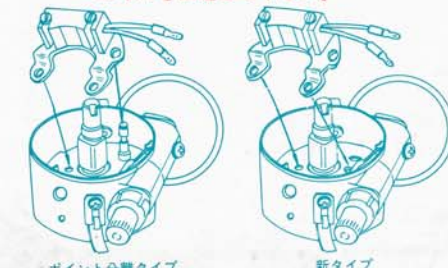
- (2) センサーコイルをピンとコンタクトセットを締付けていたネジを使い同じ所に固定する。ただし新しい車種では同じディストリビューターでもこのピンがありません。コンタクトポイントをネジでとめて有りますので、同じネジを使いセンサーコイルを固定して下さい。



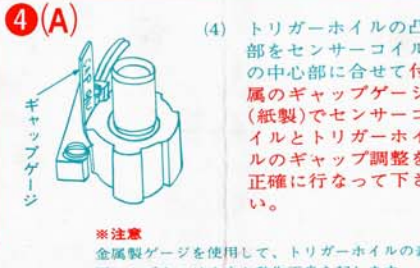
- (3) トリガーホイールをカムシャフトに取付ける。トリガーホイールの(イ)の部分がカムシャフトの山に当たる様にかかるく押さえ次にロータで押えながら確実に締め込む。(図3)



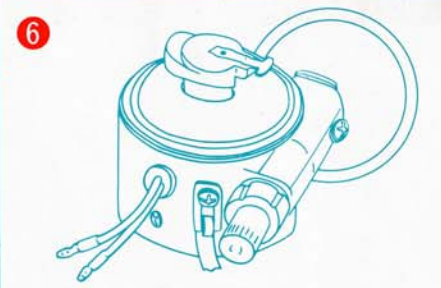
- (5) センサーコイルリード線にグロメットを入れディストリビューターに固定する。この時ディストリビューター内のセンサーコイルリード線は進角を妨げない様余裕を持たせる。(図5)



ポイント分離タイプ 新タイプ



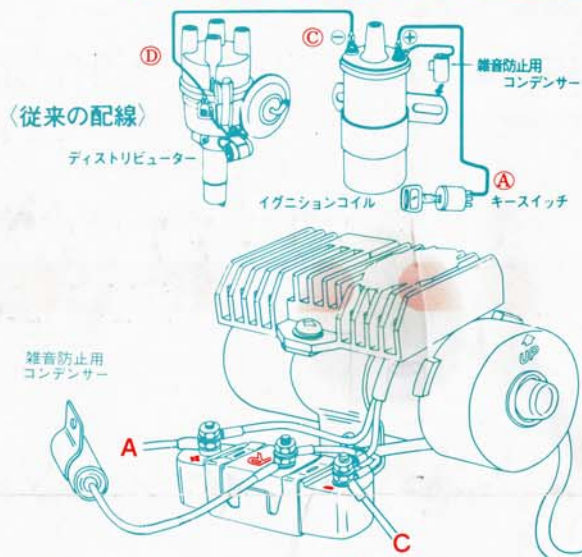
- (4) (A) トリガーホイールの凸部をセンサーコイルの中心部に合わせて付属のギャップゲージ(紙製)でセンサーコイルとトリガーホイールのギャップ調整を正確に行なって下さい。
- ※注意**
金属製ゲージを使用して、トリガーホイールの表面にキズをつけますと動作不良を起します。



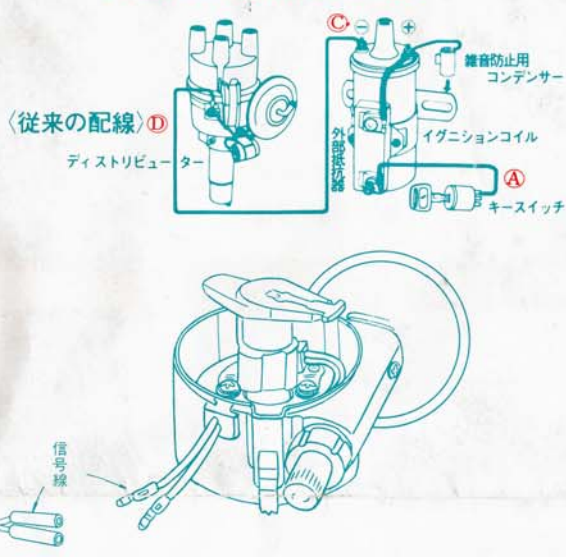
- (6) ダストブルーフカバーを入れロータを充分に差込む。

取付図 A

外部抵抗器なしの車種



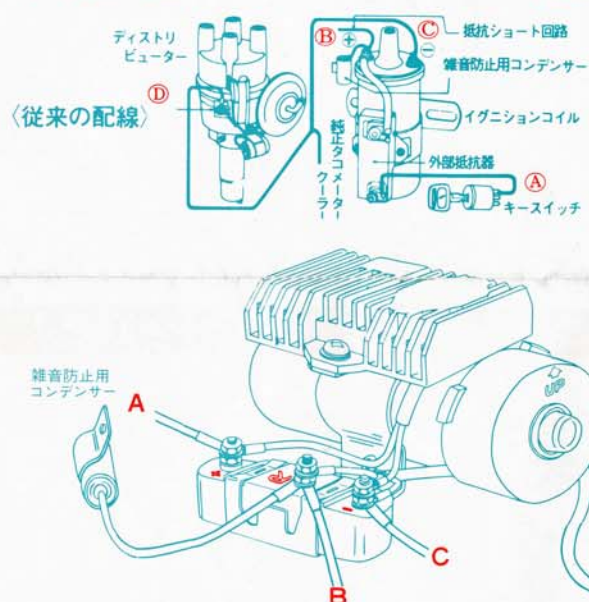
外部抵抗器付の車種



- (イ) 従来のイグニッションコイル \oplus 端子に入っている \textcircled{A} の線を、フルトラの抵抗器 \oplus 端子に接続する。
 (ロ) 従来のイグニッションコイル \oplus 端子に入っていた雑音防止用コンデンサーを、フルトラの抵抗器 \textcircled{R} 端子へ接続する。
 (ハ) 従来のイグニッションコイル \ominus 端子に入っていた \textcircled{C} の線を、フルトラの抵抗器 \ominus 端子に接続する。(なお、タコメーター、カークーラーのついていない車はこの配線は必要ありません) \textcircled{C} 線を接続した場合必ずディストリビューターに接続している \textcircled{D} の線をビニールテープにて絶縁して下さい。
 (ニ) ディストリビューターからの信号線を、フルトラの信号線に充分に差込んでビニールテープでとめて下さい。
 $\textcircled{1}$ 信号線はどちらに差込んでも問題はありません。 $\textcircled{2}$ 信号線は高压コードから離して下さい。

取付図 B

外部抵抗器付 (抵抗ショート回路付) の車種



- (イ) 従来のイグニッションコイルの外部抵抗器の \oplus 端子に入っている \textcircled{A} の線をフルトラの抵抗器 \oplus 端子に接続する。
 (ロ) 従来のイグニッションコイルの \oplus 端子に入っている \textcircled{B} の線と雑音防止コンデンサーをフルトラ抵抗器 \textcircled{R} 端子に接続する。
 (ハ) 従来のイグニッションコイルの \ominus 端子に入っている \textcircled{C} の線をフルトラ抵抗器 \ominus 端子へ接続する。(なお、タコメーター、カークーラーのついていない車はこの配線は必要ありません) \textcircled{C} 線を接続した場合必ずディストリビューターに接続されていた \textcircled{D} の線をビニールテープで絶縁して下さい。
 (ニ) ディストリビューターからの信号線をフルトラ信号線に充分に差込んでビニールテープでとめて下さい。

イグニッションコイルの高压コードとフルトラの信号線は30mm以上離して配線して下さい。

$\textcircled{1}$ トヨタ系の車でタコメーターの回路にラインフィルター(ローパスフィルター)が使われています。

●ラインフィルターの取外し



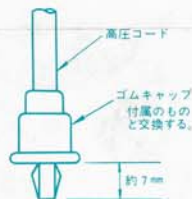
図の所にラインフィルターをフルトラに取付け抵抗器 \ominus 端子へラインフィルター用付属リード線(FP-108)を利用して配線して下さい。

タコメーター・クーラリレーの回路にラインフィルターが使用されている場合は、必ずラインフィルターを使用してフルトラ外部抵抗器の \ominus 端子に接続して下さい。車種により丸型のラインフィルターを使用している場合があります。(下図参照) 雑音防止用コンデンサーとまちがえて接続しないようにして下さい。



$\textcircled{2}$ フルトラを取付けた際に、他の部品に接触する場合はフルトラの取付け位置を移動して下さい。なお、フルトラ抵抗器は左右どちらへもさしかえ出来ます。

$\textcircled{3}$ 高压コードゴムキャップの交換



付属の高压コードゴムキャップに交換して下さい。

$\textcircled{4}$ トヨタ車の配線の色は下記の様になっています。
 電源線 \textcircled{A} 黒に黄線入り(黄色又は黒のチューブを被っているものもあります)
 ポイント線 \textcircled{C} 黒
 抵抗ショート回路線 \textcircled{B} 黒に赤線入り



$\textcircled{5}$ アース線は必ず接続して下さい。

点検・調整

阪神フルトラの取付けが終了しましたら、次の点検・調整を行なってください。

●点検

- 接続がまちがっていないか点検してください。
- ディストリビューターがエンジンにしっかりと固定されているか点検してください。
- 各差込み部、およびねじ締め部にゆるみがないか点検してください。

●点火時期の調整

点火時期の調整は、タイミングライトを使用してディストリビューターのアジャスタを回すことによって簡単にできます。
タイミングライトの準備がない場合は、サービス工場等で行なってください。

$\textcircled{6}$ クーラオートリレーの調整

フルトラ装着時にオートリレーのセット回転数が変わる場合があります。セット回転数を調べて見て変動のあるときはオートリレーの調整用ポリウムを廻して再調整してください。

■御質問・お問合せは下記へ手紙または電話で御連絡ください。

製造元
Nonohin 株式会社 阪神変圧器製作所
 本社・工場 〒657 神戸市灘区都通2丁目1番26号 TEL神戸(078)881-5111 10
 1021-8602